

一般質問

自由民主党西東京市議団(自民西) 市民クラブ(市ク)
 日本共産党西東京市議団(共産) 民主党西東京(民主)
 西東京市議会公明党(公明) 自由民主党(自民)
 生活者ネットワーク(生ネ) 市民の会(市民)

納得できる行政には正しい資料が必要!

森 輝雄(無所属)

質問 市長交際費で公的機関にビール券を配ったのは公金の不当な支出」との判決について。

市長 判決は納得しがたい。

質問 もう確定している。

市長 二度とこんなことがないようについた。

質問 自衛隊の法律違反を目にしている。市長は有罪法制にどう対処するのか。

市長 防衛庁の問題は極めて遺憾。市民の生命と安全は全力で守る。

質問 慎重審議を求める声明を出すべきだ。

市長 国会の審議を見守る。

質問 住民基本台帳ネットワークシステムの8月稼働は問題だ。

市長 国会の審議を見守る。

質問 住民基本台帳ネットワークシステムの8月稼働は問題だ。

市長 国会の審議を見守る。

質問 住民基本台帳ネットワークシステムの8月稼働は問題だ。

市長 国会の審議を見守る。

質問 住民基本台帳ネットワークシステムの8月稼働は問題だ。

市長 国会の審議を見守る。

市民参加と言つがその中身が問われる!

高梨 功(共産)

質問 福田官房長官の非核発言への市長見解を問う。

市長 福田長官は非核三原則の見直し発言をした。西

質問 東京市は非核・平和都市宣言をしている。この発言に

市長 対する市長見解は、私の感覚から言えば

市長 控えた方がいい。

質問 公民館運営審議会の各館設置を

市長 市長が言う政策形成過程からの市民参加を保障

市長 するためには、市民参加の典型である公民館の各館を

市長 独立館方式とし、各館に公民館運営審議会を設置する

市長 ことが必要だ。

教育長 社会教育法に基づく運営で市民参加は確保し

市長 ている。

質問 柳沢公園通りを走るルート

市長 の確保を

質問 はなバス運行ルート

市長 の問題だ。柳沢方面、南部

市長 に行く武蔵野市との境、五日市街道を走っている。

市長 市民の足であるならば、柳沢の中央部を走る路線の確保

市長 が必要だ。さらに、シルバーバスが引き続き利用できるようにすべきだ。

市長 ルート見直しの中で一つの課題となる。

都市整備部長 シルバーバスについては検討していく。

質問 新町5丁目の溢水問題の解決が緊急課題だ。

市長 実情に合った施設整備で解決に向け努力する。

来年度から介護保険料引き上げをやめよ

葉原 時美(共産)

質問 「福祉手当が少なく

市長 なり、介護保険料を払うことが大変だ」「家族が疲れ切

市長 っているとき、2〜3日でも預かってもらいたい」など切実な声は、両親を5年間、介護した経験から身につまされる、改善せよ。

市長 市長は保険料を、来年度から基準額を3千6百円に引き上げようとしている。

市長 平成12年度と比較すると4倍以上だ。昨年度で2億円の赤字だ。引き上げをやめ、減額、免除の制度をつくれ。

市長 市の独自施策による保険料の軽減は、審議をお願いしている。市民説明会等で市民の意見を聞き、利用料の軽減を検討する。

部長 保険料は確定ではない。準備金の取り崩しをどう使うかによって変動するし、十分協議する。

市長 超高層ビル建設は、住宅や店舗の需要さえつかまぬ計画か

質問 ひばりヶ丘駅南口の再開発は、総事業費が13億円だが、東西の踏切対策と再開発はどちらを優先するのか、住宅は賃貸が分譲か、商業施設は店舗数は幾つか等、計画の全容を明らかにし、市民に説明せよ。

市長 財源や公共施設のあり方、区域の設定等調整し、市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

けやき小建設問題など市民本位の行政を

武藤 朝子(共産)

質問 けやき小建設工事が本格的に着工されるが、旧

市長 西原小の出入りや解体工事での騒音、振動で近隣住民に大変な迷惑をかける、行政への不信感が募っている。工事説明会で住民と約束した万全な管理対策は守れるか。

答弁 近隣住民との約束を守り、安全・安心を確保する。

質問 けやき小の学童クラブの定員は現在100名だが建てかえ後は80名で心配の声がある。今後の対応を問う。

答弁 2割増までは面積を確保し受け入れ可能である。

質問 旧保谷で一部実施の小学校給食の民間委託について、旧田無でも導入とのことで不安の声が上がっている。旧田無市民に、是非

市長 も含め意見を聞くべきではないか。

答弁 旧田無市民に十分説明し、市全域で実施したい。

質問 旧西原二小跡地利用は、市民参加で早期具体化を提起したが、検討状況を問う。

答弁 教育委員会は郷土資料館、スキップ教室を確保し、体育館、プール、校庭は地域に開放したい。今後全庁的に検討し決定する。

質問 市民窓口サービスについて合併後苦情が多い。特に介護・福祉窓口は高齢者、障害者が対象で丁寧な対応が必要。改善策を問う。

答弁 市民アンケートを実施しマニュアルも作成。サービス向上に全力を挙げる。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

またも市民の負担増の道に踏み出すのか

安斉 慎一郎(共産)

質問 行財政改革推進委員会の答申には「市の財政状況はいまだ危険水域にある」とある。新市将来構想では「合併で財政力が強化される」と言っていたが、

市長 財政の健全性を確保するよう努力する。

質問 答申には「受益に相応した負担の見直し(引き上げ)」とある。新市将来構想では「負担は低い方に合わせる」と言っていたが、

市長 行政サービス享受する者には、利益に応じた負担水準を検討する。

質問 答申には「保育園、小学校給食、学童クラブ、図書館、公民館の民間委託を推進」とある。新市将来

市長 構想では「サービスは高い方に合わせる」と言っていたが、

市長 民間委託を拡充する。

質問 答申には「新庁舎建設は構想すべきである」とある。市長の見解を問う。

市長 2庁舎を使うということ、市民からいろいろ苦情が来ている。検討していかねばならない。

質問 合併前の行革大綱で、学校給食の民間委託、公民館の本館・分館、敬老金の廃止、国保料・都市計画税の引き上げがされた。またその道に踏み出すのか。

市長 合併しても、行政を運営していく本質的な考えは変わるものではない。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

学校選択制は市民的論議の必要な問題

倉根 康雄(共産)

質問 多くの保護者は導入を知らされていない。PTAや保護者にきちんと知らせ、もっと広いレベルでの論議を進めるべき。市民参加について十分なされた認識しているのか。

答弁 子どもの生活と家庭の実態・意向調査で、70%の賛成がある。また、市民も参加する学校選択制度を実施懇談会で検討している。

意見 実態・意向調査の問いは「一部の区市において公立の小中学校について通学区域の枠を越えて通学できる学校自由選択制度を取り入れていきます。このような制度についてどのような考えですか」であり、

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

市長 市民に説明したい。

用語の解説

【一般質問】 議員が議会の会議で、市の権限に属する行政事務全般にわたり、市長等に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等についての報告、説明、考えを求め、これに対する疑問をただしたり、意見を述べたことを言います。

本市議会では、6月、9月、12月の定例会の2日目から4日間で行われます。

質問者は、執行機関の明瞭な答弁を求めるために、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告します。

現在の質問時間は、答弁を含め1人40分で、発言順序は抽選により決められます。

【ジェンダー】 生物学的な性の違いに対して、社会の中で成長する過程で、こころあるべきだと身についていた性差観念を言います。

【オンプスパーソン】 市民等に代わって行政の適正な運用を監視する専門員。従前は「オンプスマン」と呼ばれていましたが、近年「マン」が男性を示すことから「オンプスパーソン」と呼ばれるようになりました。

【ブックスタート】 将来的に読書意欲を高めるために、ある年齢(1・2歳程度)に達した子どもに、年齢に合った絵本などを配布し、親と子が本を読む時間を共有する楽しさを伝える運動を言います。